

2017年1月1日

## 武漢造船グループがカンボジアで一番高いビルに参加

昨日、武船集団はカンボジア泰文隆集団、マカオ新建業集団と戦略的提携協議書及びプロジェクト建設契約に調印し、この2社が共同で投資しているカンボジアで一番高いビルとなる「プノンペンツインタワーズ」の建設にかかわることとなった。

プノンペンツインタワーズは、メコン川とカンボジア王宮に近いプノンペンのゴールデンゾーンに位置する高級大型商業施設である。プロジェクトの総投資額は27億ドルで、建設面積は152万平方メートルである。その内2棟の133階建てのツインタワーズは高さが約560メートルで、高さ452メートルのクアラルンプールツインタワーズを超えて東南アジアで最も高いビルとなる。協議書に基づき、武船集団と神州長城株式会社が共同企業体を組織し、このプロジェクトの設計と建設を請負う。

2017年1月2日

## 3000人が美しいマラソンコースを体験

3000人以上の武漢市民が2017年の元旦、東湖グリーンロードのミニマラソンに参加した。これは東湖グリーンロードが正式に開通して以来、マラソンコースとして初めて行われたイベントとなった。

東湖グリーンロードは武漢のマラソンコースの中で“最も美しいコース”と称えられている。6キロメートルのコースは、出発点の“湖光序曲”から、“九女墩”、“長堤杉影”、“湖心島”、“鵝詠陽春”を經由して終点の“磨山挹翠”までとなる。友達と一緒に参加した牛さんは「湖心島の給水所で水分補給ができてとてもありがたい」と記者に語った。その他、完走した選手には、主催者が特別に用意した限定版記念切手が贈られた。



東湖グリーンロード